

平成26年度 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会
第3回環境部会での質問に対する回答について

第3回環境部会における傍聴者の方々からのご質問についてお答えします。

○質問－1

NEXCOは、委員に事前に正確に説明できているのか。調査の方法と目的（ねらい）評価の仕方について、委員とすりあわせができた内容を今日の資料として提示されているのでしょうか？調査の手法等NEXCOが決めているように思います。工事内容と調査方法、時期を正確に共有すべきだと思います。

◆回答－1

第3回環境部会で提示した資料は、事前に各委員からのご指導・ご助言を頂きながら作成したものです。

○質問－2

予備調査データがあるということであれば、本日委員にみせて議論していただくべきではないですか？データに基づいて専門家の議論と評価ができるスケジュールを組んでいただきたいです。

◆回答－2

これまでに実施した予備調査は、昨年度の環境保全対策及び今回の環境モニタリング調査計画の作成のために必要な基礎資料を得るための調査としており、昨年実施した予備調査の結果については、各委員の事前確認を頂き、第1回環境部会（平成25年9月13日開催）で報告

（<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/0913/>）しているところです。なお、今回の環境部会で提示した環境モニタリング調査計画（案）については、今までの予備調査の結果や先行事例を参考に立案し、それらを踏まえて議論されているものです。

また、今後のスケジュールについては、平成26年10月頃と平成27年6月頃に実施する事前調査の結果がそれぞれまとまった段階において環境部会を開催し、工事中調査計画のブラッシュアップを図っていきたいと考えています。

（別添2参照 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/pdfs/2-00.pdf>）

○質問－3

断面的に深浅調査をしますか？

◆回答－3

深浅測量は、吉野川の河川内では河川流向に対し横断的に、沖合では河川流向に対し縦断的に測線を設け（100m又は200m）、その測線に沿って調査する計画です。

（別添1説明資料P19参照 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/pdfs/1-05.pdf>）

○質問－4

河口中州干潟の形状の変化や面積の経年変化はしますか？

◆回答－4

これまでの環境部会の議論であったように、河口域は自然の揺らぎにより地形変化が激しい場所であることから、河口干潟の経年変化が予想されます。ただし、検討会に報告した流況シミュレーションでは、渡河橋梁の存在による河口干潟の地形変化はないと予測されています。今後の河口域における地形変化の把握については、H26.10から実施する環境モニタリング調査の地形調査により監視を行っていく予定です。

(別添1参照 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/pdfs/1-05.pdf>)

なお、地形調査では、河口干潟の地形測量を年2回の頻度で実施する計画であり、経年的な干潟の形状や面積等が把握できるものと考えています。

○質問－5

魚類調査において、河口の河川側だけでなく、浅海部の調査はしなくていいのでしょうか？

◆回答－5

魚類調査は、橋脚設置による魚類への影響監視を行うための調査であり、魚類調査の範囲は、流況シミュレーションで予測される橋脚の影響範囲（吉野川距離標0.0kmの上下流400mの範囲）のうち、渡河橋計画線付近を調査（刺し網による調査）することとしたものです。

なお、これらの魚類調査については、委員からのご指導、助言を頂きながら計画したものです。

第3回環境部会では傍聴者の方々から意見・要望を頂きました。

○意見・要望－1

全体的に、工事も工程も拙速すぎて、調査した内容が設計に反映することが不可能に行えます。

◆回答－1

事前調査結果の反映について、平成26年10月頃と平成27年6月頃に実施する事前調査（地形調査、底生生物・底質調査）の結果がそれぞれまとまった段階において環境部会を開催し、工事中調査計画のブラッシュアップを図っていく予定です。

(別添2参照 <http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/pdfs/2-00.pdf>)

なお、事前調査等において、課題が生じた場合には、適宜、橋梁部会や環境部会に諮りながら事業を進めていきたいと考えています。

○意見・要望－2

工事中に予定している、しゅんせつ場所や面積について、地図を示して説明してください。

◆回答－2

計画段階における浚渫範囲や浚渫面積は、これまでに実施してきた環境部会、橋梁部会の説明資料に記載しておりますので、ご確認いただきたいと思います。NEXCO西日本ホームページ

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/1210/pdfs/1-03.pdf>) をご参照ください。

○意見・要望－ 3

シギ・チドリ類について、休息、採餌場所、行動、個体数の工事周辺の経時変化を調べてください。とくしま自然観察が提出した報告書と比較していただきたい。

◆回答－ 3

鳥類の環境モニタリング調査項目は、説明資料

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0522/pdfs/1-07.pdf>) に記載しており、シギ・チドリ類の休息、採餌場所、行動、個体数を調査する計画になっておりますので、ご確認いただきたいと思います。

また、シギ・チドリ類への影響評価に関しては、委員からのご指導、助言をいただきながら、今後検討していきたいと考えています。

○意見・要望－ 4

漁師さんの話では、渡河部の付近（河と海の境目 1m 前後）が大事な場所と聞いています。海側の調査も施工後流れが変わるので、必要なのではないかと思います。

◆回答－ 4

橋脚設置による影響範囲は、流況シミュレーションの結果、吉野川距離標 0.0 km の上下流 400m 程度と予測されており、この影響範囲を重点的に調査することとしております。

なお、これらの魚類調査については、委員からのご指導、助言を頂きながら計画したものです。
